

詳細集計は、就業者、完全失業者などの状況を特定調査票により詳しく調査・集計したものです。同時期の完全失業率などの基本集計の結果については、平成21年1月30日に公表済みです。

【平成20年10～12月期平均（詳細集計）】

結果の概要

雇用者（非正規の職員・従業員の割合）

- ・雇用者（役員を除く）に占める非正規の職員・従業員の割合は34.6%。
前年同期に比べ0.9ポイントの上昇。5期連続の上昇
- ・男性は20.1%。前年同期に比べ1.3ポイントの上昇。
女性は53.5%。0.3ポイントの上昇
- ・年齢階級別にみると、55歳以上は48.4%。前年同期に比べ1.2ポイントの上昇
35～54歳は29.5%。0.9ポイントの上昇。
15～34歳は32.7%。0.5ポイントの上昇

図1 年齢階級別にみた非正規の職員・従業員の割合の推移

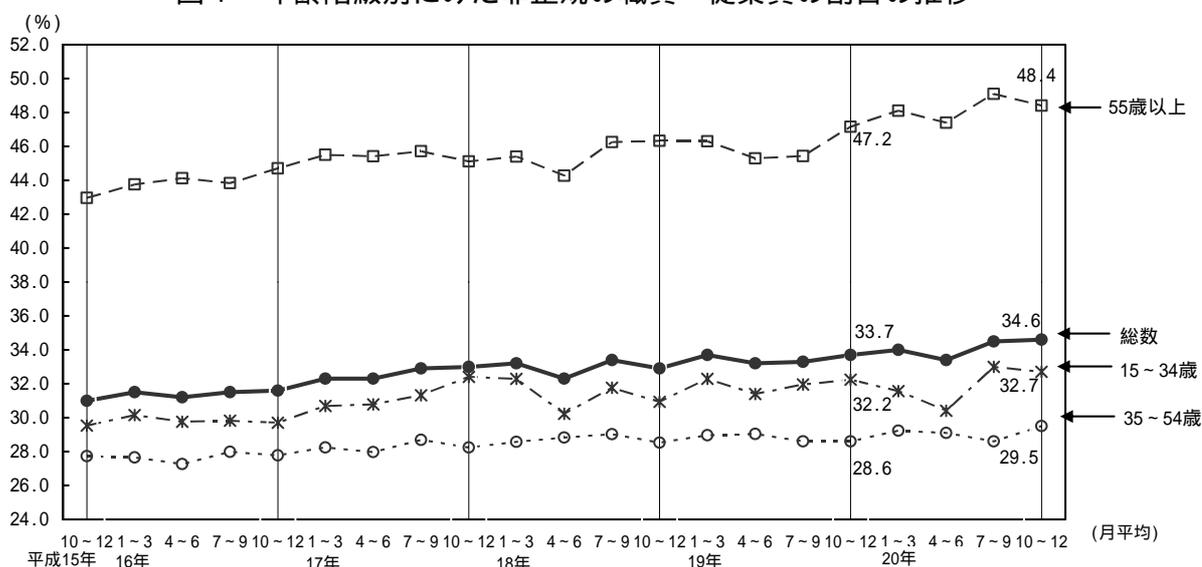


表1 雇用形態別にみた雇用者の内訳及び非正規の職員・従業員の割合の推移

		平成18年	平成19年				平成20年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
実数 (万人)	就業者	6388	6301	6468	6432	6408	6307	6443	6392	6360
	雇用者	5520	5521	5600	5577	5545	5485	5576	5532	5562
	役員を除く雇用者	5132	5120	5215	5207	5156	5108	5181	5164	5185
	正規の職員・従業員	3443	3393	3483	3471	3418	3371	3449	3385	3390
	非正規の職員・従業員	1691	1726	1731	1736	1738	1737	1732	1779	1796
(非正規の職員・従業員の割合)										
割合 (%)	男 女 計	32.9	33.7	33.2	33.3	33.7	34.0	33.4	34.5	34.6
	男	17.8	18.4	18.0	18.1	18.8	18.7	18.2	19.7	20.1
	女	52.8	54.1	53.1	53.4	53.2	54.2	53.1	53.6	53.5
対前年同期増減 (ポイント)	男 女 計	-0.1	0.5	0.9	-0.1	0.8	0.3	0.2	1.2	0.9
	男	0.0	-0.1	1.1	-0.4	1.0	0.3	0.2	1.6	1.3
	女	-0.6	1.2	0.6	0.5	0.4	0.1	0.0	0.2	0.3

注) 割合は、内訳の合計に対するものである。

非正規の職員・従業員は、パート・アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託及び「その他」の合計

完全失業者

1 失業期間

- ・ 完全失業者は 260 万人。前年同期に比べ 11 万人の増加
- ・ 失業期間別にみると、「1 年以上」が 91 万人と最も多く、次いで「3 か月未満」が 86 万人
- ・ 前年同期と比べると、「3～6 か月未満」は 8 万人の増加、「1 年以上」は 5 万人の増加
- ・ 割合でみると、「3～6 か月未満」は 2.5 ポイントの上昇

表 2 失業期間別にみた完全失業者の推移

		実数(万人,%)					対前年同期増減(万人,ポイント)				
		平成19年	平成20年				平成19年	平成20年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
実数	完全失業者	249	263	270	266	260	-12	-9	14	16	11
	3 か月未満	89	93	105	99	86	1	-2	-1	12	-3
	3～6 か月未満	34	38	39	49	42	-4	-3	3	9	8
	6 か月～1 年未満	38	40	33	35	38	-4	-3	0	-6	0
	1 年以上	86	89	89	79	91	-3	2	12	0	5
割合	完全失業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 か月未満	36.0	35.8	39.5	37.8	33.5	1.8	0.1	-2.6	2.6	-2.5
	3～6 か月未満	13.8	14.6	14.7	18.7	16.3	-1.0	-0.8	0.4	2.5	2.5
	6 か月～1 年未満	15.4	15.4	12.4	13.4	14.8	-0.9	-0.8	-0.7	-3.2	-0.6
	1 年以上	34.8	34.2	33.5	30.2	35.4	0.2	1.5	2.9	-1.8	0.6

注) 割合は、内訳の合計に対するものである。

2 仕事につけない理由

- ・ 仕事につけない理由別にみると、「希望する種類・内容の仕事がない」(79 万人)は前年同期に比べ 9 万人の増加、「勤務時間・休日などが希望とあわない」(27 万人)及び「条件にこだわらないが仕事がない」(26 万人)は 4 万人の増加

表 3 仕事につけない理由別にみた完全失業者の推移

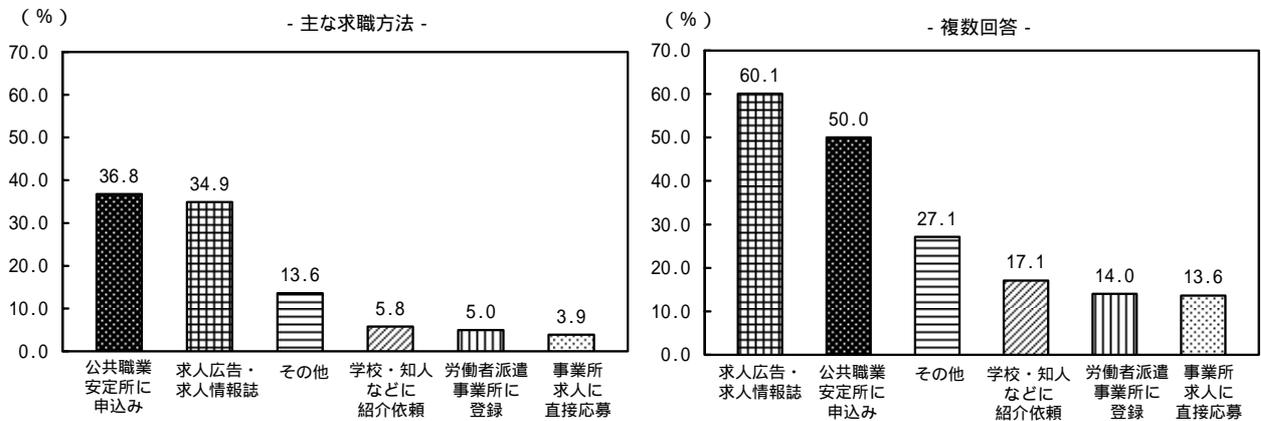
		実数(万人,%)					対前年同期増減(万人,ポイント)				
		平成19年	平成20年				平成19年	平成20年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
実数	完全失業者	249	263	270	266	260	-12	-9	14	16	11
	賃金・給料が希望とあわない	24	23	22	17	20	5	-1	1	-3	-4
	勤務時間・休日などが希望とあわない	23	26	29	32	27	-2	-1	6	11	4
	求人年齢と自分の年齢とがあわない	50	42	43	41	47	-2	-9	-3	-5	-3
	自分の技術や技能が求人要件に満たない	17	16	11	18	17	-2	1	-5	2	0
	希望する種類・内容の仕事がない	70	78	84	83	79	-8	-4	3	2	9
	条件にこだわらないが仕事がない	22	26	24	21	26	1	5	4	3	4
	その他	40	47	53	50	42	-5	0	7	4	2
割合	完全失業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	賃金・給料が希望とあわない	9.8	8.9	8.3	6.5	7.8	2.5	-0.1	0.0	-1.6	-2.0
	勤務時間・休日などが希望とあわない	9.3	10.1	10.9	12.2	10.5	-0.4	0.0	1.8	3.7	1.2
	求人年齢と自分の年齢とがあわない	20.3	16.3	16.2	15.6	18.2	0.2	-2.8	-2.0	-2.9	-2.1
	自分の技術や技能が求人要件に満たない	6.9	6.2	4.1	6.9	6.6	-0.4	0.6	-2.2	0.4	-0.3
	希望する種類・内容の仕事がない	28.5	30.2	31.6	31.7	30.6	-1.6	-0.5	-0.4	-1.0	2.1
	条件にこだわらないが仕事がない	8.9	10.1	9.0	8.0	10.1	0.8	2.2	1.1	0.7	1.2
	その他	16.3	18.2	19.9	19.1	16.3	-1.1	0.6	1.7	0.6	0.0

注) 割合は、内訳の合計に対するものである。

3 求職方法

- ・ 主な求職方法別の割合をみると、「公共職業安定所に申込み」が 36.8%と最も多く、次いで「求人広告・求人情報誌」が 34.9%
- ・ 複数回答^(注2)でみると、「求人広告・求人情報誌」が 60.1%と最も多く、次いで「公共職業安定所に申込み」が 50.0%

図2 完全失業者の求職方法別割合



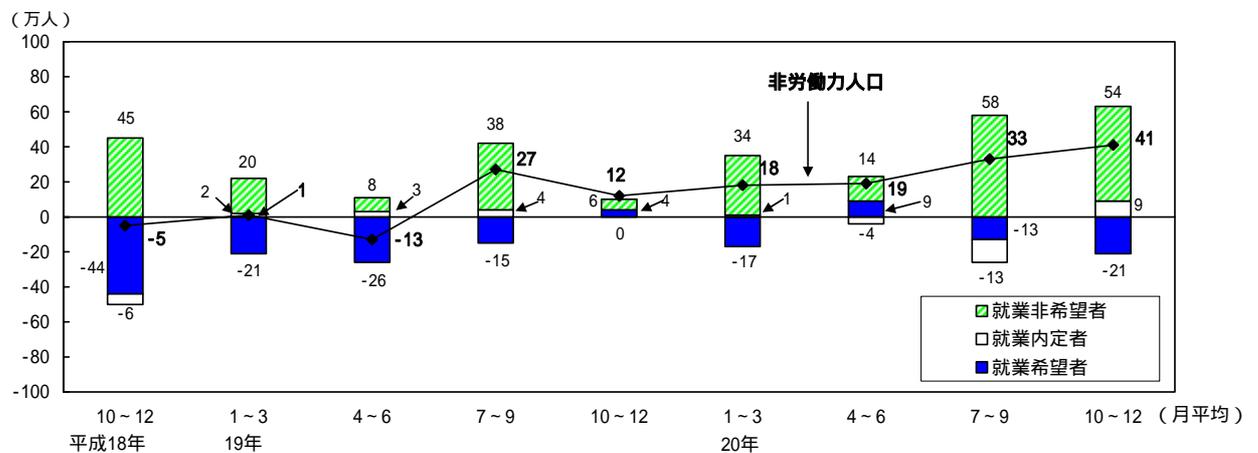
注) 1. 求職方法の「その他」には、「民間職業紹介所などに申込み」、「事業開始の準備」、「その他」が含まれる。
 2. 複数回答は、求職方法として当てはまる回答すべてを集計したものであり、合計は100%以上となる。

非労働力人口

1 就業希望の有無

- ・ 非労働力人口は 4411 万人。前年同期に比べ 41 万人の増加
- ・ 就業希望者（就業を希望しているものの、求職活動をしていない者）は 442 万人。前年同期に比べ 21 万人の減少
- ・ 就業非希望者は 3855 万人。54 万人の増加

図3 就業希望の有無別にみた非労働力人口の対前年同期増減の推移



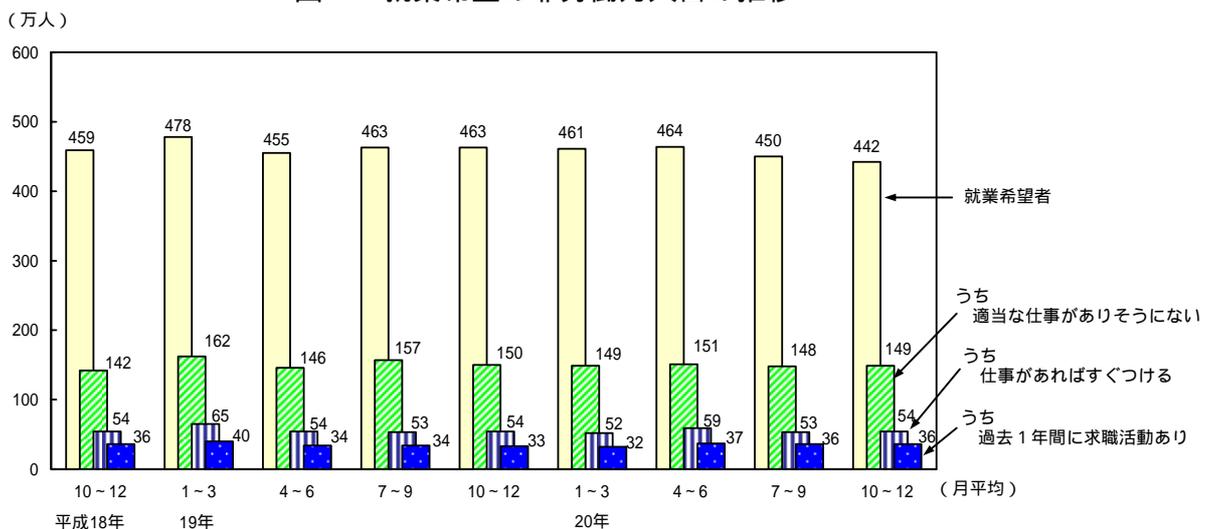
2 非求職理由

- ・ 就業希望者を非求職理由別にみると、「適当な仕事がありそうにない」のうち「今の景気や季節では仕事がありそうにない」(17万人)は、前年同期に比べ8万人の増加
- ・ 「適当な仕事がありそうにない」のうち「仕事があればすぐつける」(54万人)は前年同期と同数。このうち「過去1年間に求職活動あり」(36万人)は3万人の増加

表4 就業希望の有無，非求職理由別にみた非労働力人口の推移

平成20年10～12月期平均	実数(万人)			対前年同期増減(万人)		
	男女計	男	女	男女計	男	女
非労働力人口	4411	1460	2950	41	21	20
就業希望者	442	123	320	-21	-1	-19
適当な仕事がありそうにない(以下5項目の合計)	149	45	104	-1	4	-5
近くに仕事がありそうにない	31	7	24	0	-1	1
自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない	20	8	12	0	-1	1
勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない	53	12	41	-4	3	-7
今の景気や季節では仕事がありそうにない	17	7	10	8	4	3
その他適当な仕事がありそうにない	28	11	17	-5	-2	-3
家事・育児のため仕事が続けられそうにない	113	1	113	-10	1	-9
健康上の理由	64	26	39	-6	-4	0
その他	102	44	58	1	1	0
就業内定者	112	52	60	9	1	8
就業非希望者	3855	1286	2569	54	24	31

図4 就業希望の非労働力人口の推移



3 年齢階級別就業非希望者

- ・ 就業非希望者を年齢階級別にみると，15～64歳（1596万人）は前年同期に比べ11万人の減少，65歳以上（2260万人）は68万人の増加

表5 年齢階級別にみた就業非希望者の推移

平成20年 10～12月期平均	実数(万人)			対前年同期増減(万人)		
	男女計	男	女	男女計	男	女
総数	3855	1286	2569	54	24	31
15～64歳	1596	439	1156	-11	-9	-4
65歳以上	2260	847	1413	68	33	35